

課題

1 $\frac{2}{5}$ Lのジュースと $\frac{4}{5}$ Lのジュースを合わせると、何Lですか。

(具体物を示し、イメージをつかませる) どんな式になるでしょう。理由も説明しましょう。

1 $\frac{2}{5}$ Lと $\frac{4}{5}$ Lのジュースを合わせるので式は、 $1 \frac{4}{5} + \frac{4}{5}$ Lです。

帯分数のたし算のしかたを考えましょう。

前の学習では、分子同士たせばよかったけれど、帯分数のときも分子同士たせばいいのかな。

- 既習事項**
- ①面積図に表してから計算の仕方を考える。
 - ②帯分数を仮分数にしてたす。
 - ③整数はそのまま、真分数同士をたす。

自力解決

①面積図を使って答えの求め方を考えた。

$1 \frac{2}{5} + \frac{4}{5}$ をたすと $2 \frac{1}{5}$ になります。

②帯分数を仮分数になおしてたす。

$$1 \frac{2}{5} + \frac{4}{5} = \frac{7}{5} + \frac{4}{5} = \frac{12}{5}$$

③整数はそのまま真分数をたす。

$$1 \frac{2}{5} + \frac{4}{5} = 1 + \frac{2}{5} + \frac{4}{5} = \frac{6}{5}$$

- 指導上の留意点**
- 見通しが立たない児童への支援として図等を示したり、既習内容を想起させたりして考えさせる。
 - 前にならったことから新しいことを考えたり、図を用いて考えたりできるように日頃から段階的に指導しておくようにする。
 - 面積図のプリントを準備しておく。
 - 発表する際の視点、聞く側の視点を示すようにする。
 - 自分の考えを発表して終わるのではなく計算の仕方を考えた児童以外に、説明させる場を保障する工夫も考えられる。
 - 分からないことを質問させたり、気付いたことを述べさせたりする場を保障することで、理解を深めるようにする。

集団思考

1 考えたことを発表する。

説明する人は、「前にならったこと」や「図」「まず、次に、だから」などの『つなぎ言葉』を意識して説明しましょう。

聞いている人は、「似ている考え方」「違う考え方」に注意して聞きましょう。

・・・と考えました。質問や意見はありませんか。

3人の答えが違うのはどうしてですか。

表し方はちがっていますが、答えの大きさは同じです。

2 答えの表し方の違いについて考える。



$\frac{11}{5}$, $1\frac{6}{5}$, $2\frac{1}{5}$ の大きさを確かめよう。

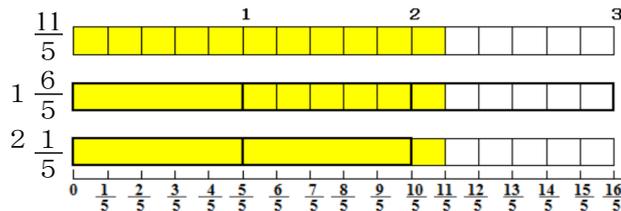


○仮分数を帯分数に直して考えてみるといいです。

- ・ $1\frac{6}{5}$ の $\frac{6}{5}$ は、 $1\frac{1}{5}$ だから、 1 と $1\frac{1}{5}$ をたして $2\frac{1}{5}$ になる。
- ・ $\frac{11}{5}$ を帯分数にすると、 $2\frac{1}{5}$ になる。



○テープ図で比べてみるといいです。



大きさは同じですね。大きさが分かりやすい表し方はどれかな。

帯分数で表すと大きさが分かりやすいです。



3 同分母の帯分数のたし算の計算の仕方をまとめる。



帯分数のまじった分数のたし算は、どのように計算しますか。

- ① 帯分数を整数部分と分数部分に分けて計算する。
- ② 帯分数を仮分数になおして計算する。



まとめ

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

- ① $1\frac{1}{4} + \frac{2}{4}$ ② $\frac{2}{7} + 2\frac{1}{7}$ ③ $1\frac{5}{6} + \frac{3}{6}$ ④ $\frac{3}{5} + 3\frac{4}{5}$
- ⑤ $1\frac{1}{3} + \frac{2}{3}$ ⑥ $1\frac{2}{6} + 2\frac{3}{6}$ ⑦ $2\frac{1}{4} + 3\frac{2}{4}$ ⑧ $2 + 3\frac{4}{7}$

● 図を使って大きさを比較させるなど、算数的活動を行うようにする。

● 分数の大きさの比べ方の学習を想起させ、児童から引き出すようにする。

● まとめは、本時の課題に照らし合わせ、児童から分かったことを引き出し、まとめるようにする。